

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らし暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人全体での理念とともに事業所理念を事務所に大きく掲示し常にスタッフが意識出来る様にしています。	
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	事務所にわかりやすく掲示し、スタッフへの浸透を図っています。ミーティングの際にも確認をしています。また、理念に沿った具体的な目標を決め取り組んでいます。	
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	全スタッフで理念を共有し、ご家族の面会時や地域の方との会話の中で理念の浸透を図っています。また、玄関にその理念を掲示し、見学に来られた方々にも理解して頂けるよう取り組んでいます。	さらにいろいろな地域交流の場で理念を浸透させていくべく取り組んでいます。
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	全スタッフでご近所の方々に笑顔で挨拶するように努めています。回覧板をまわしたりおすそ分けしあったりして交流しています。町内の行事の際にもいつでも気軽に訪問いただくよう地域の方々に声をかけています。	
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に所属し地域清掃、校区防災訓練などさまざまな行事に参加しています。町内会総会にも参加し地域の方々にご理解頂けるようお話をさせて頂きました。また、町内会長様にもご理解頂き、回覧板にてふれあいの家についていつも一言触れて頂く等の配慮を頂いております。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>町内会総会出席時に地域の皆様にとっての身近な介護の相談相手としていつでもご相談下さいとお話をさせていただきました。自治会の回覧板でも同様の告知を行っています。また、いつでも施設内を見学してくださいのご案内もしています。</p>	<p>自分の町内のみならず、校区全体へと少しずつ交流を広げて行きたいと思っています。</p>
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>ミーティングにおいて前回の評価を確認し地域との更なるコミュニケーションを図ること、充実した運営推進会議を開催出来る様に取り組みました。</p>	
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>昨年度は2回の運営推進会議を行い、ふれあいの家田島の日々の生活や入居者様の生活の様子を報告しました。御家族様、地域の方、包括センターの方スタッフそれぞれが高齢者の置かれている現状について思いを述べていただきその思いを汲み取ったサービスを行おうと日々奮闘しています。</p>	
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者らと運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議以外にも城南区の事業者交流会や研修に参加し、また、他施設スタッフの実習受け入れを積極的に行うなどして、しばしば市や包括センターの担当者とお会いしています。そのたびに事業所運営について相談をさせて頂き、ご指導を受けています。</p>	
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>ふれあい会においては定期的に研修が行われその中の題材として地域福祉権利擁護事業や成年後見について学ぶ機会を設けています。また、区や市で行われる研修にスタッフが順番に参加していくようにしています。</p>	
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>ふれあい会では定期的に虐待防止の研修を開いておりスタッフに意識付けできる機会を作っています。管理者はミーティングにおいて常に虐待防止を呼びかけておりスタッフの入居者様への対応にも気を配っています。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4.理念を実践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだし解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>十分にご理解頂けるように、ゆっくりと時間をかけてわかりやすく説明し、疑問点については、当日だけではなく、いつでも申し出て頂けるような信頼関係作りにも努めています。</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>普段の介護の中で常に利用者の気持ちを汲み取っていく事をスタッフ全員が心がけています。</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>月に1度発行するふれあい通信で報告しています。また、面会時には必ずスタッフが家族に近況を報告しています。</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関先に意見箱を設けいつでも利用出来る様にしています。また、面会時にも随時お聞きできるようにしています。</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月に1度の施設ミーティングと運営本部による管理者会議、半年に1度の運営本部責任者によるスタッフ面談その他、必要のあるごとに面談を設けています。</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>緊急連絡網を作りスタッフの応援体制を整えています。また、運営本部への相談により柔軟なスタッフ配置を行うようにしています。</p>		
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>管理者と主要スタッフはこの事業所勤務が2年を越えており(6人)利用者様との馴染みも深くなっています。また、スタッフ異動についても交代期間を設ける形で対処しています。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5.人材の育成と支援			
19	<p>人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p>	<p>募集、採用に関しては法人の運営本部と管理者が相談のうえで行っており、ホームの人員配置についてもスタッフに配慮しバランスをとっています。</p>	
20	<p>人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>	<p>運営本部は継続的に身体拘束の取り組みを続けており、常に入居者の人権に配慮した介護を呼びかけています。</p>	
21	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>運営者は資格取得を奨励しており評価の対象としています。月に1度の研修を複数行うほか、外部の研修の参加支援も行なっています。</p>	
22	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>複数のホームを運営する法人の事業所であるため本部にて1ヶ月に1度数種類の勉強会が開かれています。また、地域の事業者交流会や研修などを通じて他の同業者とも交流できる機会を作っています。</p>	
23	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>運営本部は年2回のスタッフ面談を行うほかにも随時相談を受けられる体制を整えています。</p>	
24	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるよう努めている</p>	<p>運営本部は人事考課と言語形で職務への評価を明確に把握するように努めており、各人の努力に相応した評価を行えるような制度作りを行っています。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
25	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり受けとめる努力をしている</p>	<p>利用開始前に、管理者による事前訪問と体験入居を行っておりその時点で十分御本人の気持ちをお聞きするようにしています。</p>	
26	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり受けとめる努力をしている</p>	<p>初めての相談時からアンケートやヒヤリングにより具体的に相談内容を把握するようにしています。</p>	
27	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>御家族からの相談があった際、また見学に来られた際に、お話を聞かせて頂き、一緒に必要とされているサービスがあるかを相談させて頂いています。</p>	
28	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>体験入居のシステムを作っておりその間はファックスや電話にて毎日家族と連絡を取りながら生活の様子をお伝えし、スムーズにサービスを開始できるようにしています。</p>	
2.新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
29	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり支えあう関係を築いている</p>	<p>寝食をとむにすることで自然に家族のような愛情が育まれています。歌を一緒に歌ったり昔のお話を聞いて人生を語りたりしながらともに楽しい時間を分かちあっています。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会時には家族にスタッフ全員が明るく挨拶し家族に親しんでいただくよう心がけています。また、近況報告も必ず行い、利用者様と一緒に支えていく関係を作り上げています。		
31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるよう支援している	フェースシートと家族よりの情報提供書を個人カルテに付し、また、事前訪問時よりアセスメントを重ね、スタッフはそれを把握した上でコミュニケーションに活用しています。		
32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう支援に努めている	御本人が大切にしてきた家具や装飾品などを家族に持参していただき馴染みのしつらえをおこなっています。また、昔なじみの方の訪問や以前の趣味をいかしたレクを行うなどしています。		
33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるよう努めている	利用者同士の相性や性格特性をスタッフが把握し、上手に取り持つよう心がけています。		
34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	医療つき施設に移動した方については面会などにお伺いするようにしています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1.一人ひとりの把握			
35	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>起床から就床まで1人1人の生活パターンを尊重しながら援助しています。</p>	
36	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>家族からの聞き取りにより詳しいアセスメントシートを作成し、これまでの生活歴や嗜好、既往症などを全員が把握するようにしています。</p>	
37	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>定期的にサービス担当者会議を開き、現在の状態確認を行っています。</p>	
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
38	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>担当職員がご本人と作成した介護計画をミーティングの際に持ち寄り、他のスタッフの意見を取り入れ作成しなおし、ご本人、ご家族にも説明し、ご納得して頂けるよう修正しています。。</p>	
39	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>サービス担当者会議において現状の把握見直しを行うとともに毎月行われるミーティングにおいても現状把握を行い援助計画の見直しを行っています。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	入居者1人1人の特徴や変化を具体的に記入しサービス担当者会議やミーティングにおける資料としています。		
3.多機能性を活かした柔軟な支援				
41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご本人やご家族の状況に合わせ、通院の付添等を行っています。		
4.本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	中学校の福祉施設体験を受け入れています。地域や校区の民生委員も定期的に訪問していただいたりしています。		地域との交流を盛んにしボランティアの方や地域の方の来訪が増えていくよう努めていきます。
43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	口腔ケアや訪問マッサージ、訪問理美容などをご本人のご希望により受けていただいています。		
44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	包括支援センターの担当者には運営推進会議に出席していただくとともに必要に応じて指導や支援の要請をしています。		
45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	契約時に主治医についての了承を得た上で2週に1度の往診と24時間の連携体制を整えています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
46 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	御家族、主治医、職員の相談のうえ、主治医より紹介の専門医への受診、相談をづけています。		
47 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	健康管理のために、毎日測定している血圧、体温、脈拍の値を報告することで、医療連携先の看護職員が常時入居者の健康状態を把握している体制を整えています。		
48 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時には主治医より紹介状を持参し、定期的に入院先病院との連絡を行い状態把握を行って退院時に備えています。		
49 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居した初期の段階にて主治医と職員、家族の話し合いの機会を持つようしており、重度化した場合の方針を決定するようにしています。		
50 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をよ良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	常に主治医と家族との連絡を密に行っています。家族の希望を聞き、利用者様に最も良いと思われる選択が行えるようにしています。		
51 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	住み替えにおいては御本人と御家族の意向を汲み、詳しい情報提供書を作成し、住み替え後の施設に送付します。また、問い合わせ等についても親身に応じるようにしています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1.その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
52	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>職員の意識向上を図る為、毎月のミーティングの際に利用者様の誇りやプライバシーを損ねない対応の徹底を図り、個人情報保護法や理解、情報の漏洩防止に努めております。</p>	
53	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたりわかる力に合わせた説明を行い、自分で決めた納得しながら暮らせるように支援している</p>	<p>利用者様の希望や関心、嗜好を見極め、その方に合わせた声かけ、表情の読み取り等を行い、ご自分で選択出来るよう助言、支援を行なっております。</p>	
54	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>入居者様の一人ひとりの生活のリズムに合わせ、食事や入浴等においても、望んでいるペースに合わせた対応を行なっております。</p>	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
55	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>一人ひとりの個性、希望、生活暦等を考慮しながら毎日の起床時、髪型や服装等、身だしなみやおしゃれをさりげなく助言し、支援しております。又、ご家族様の希望に応じ、訪問理美容を利用しております。</p>	
56	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>栄養のバランスや入居者様の好みや苦手なものを踏まえたメニューを工夫し、一人ひとりに対応しております。又、テーブルと一緒に囲み会話を楽しみながら、同じ物を一緒に食べております。</p>	
57	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>職員が一人ひとりの嗜好品をよく把握し、日常のおやつ、間食等に好みのものを準備しております。誕生会やバーベキューの時など雰囲気に合わせて、お酒もおだしてあります。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58	気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表により、一人ひとりの排泄のパターンを把握した上でさりげなく促し、誘導を行っております。なるべく日中は下着で過ごせるようパットと組み合わせたり、可能な限りトイレでの排泄を心がけております。		
59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	羞恥心、恐怖心、負担感等を配慮し、その日の体調や希望を確認しながら入浴をしていただいております。入浴を拒む方に対しても無理強いをせずに言葉かけ、対応の工夫を行っております。		
60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人ひとりの一日の流れや体調に合わせて、個別に休息の支援をしています。眠れない時には、添い寝をしたり好きな物や温かい飲み物をお勧めしたり、安心して眠れるよう配慮しております。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるよう、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活リハビリ等を考慮し、茶碗拭きや洗濯物たたみ等、スタッフと一緒に楽しく会話をしながら、ご本人に合った役割を持って頂いております。		
62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族、ご本人の希望もあり、小額のお金を持っている方もいらっしゃいます。一人ひとりの力や希望に合わせた金銭管理をしております。		
63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人ひとりの習慣や楽しみごとに合わせ、近くの喫茶店や公園等、散歩に出かけたり、買い物に出かけたりしております。		
64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり支援している	ご家族やご本人の希望に添って予め計画を立て勤務調整を図りながら、外出支援を行っております。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり手紙のやり取りができるように支援をしている	家族や知人等の方々から電話がかかってきた際は、必ずご本人様とお話ができるよう支援しております。又、お手紙等ご自分で書かれる方、書けない方等を考慮し、年賀状等で支援しております。		
66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも気軽に来苑して頂けるよう、自然な雰囲気作りを心がけております。その方の現在の状況等お伝えしながらも気兼ねなく過ごしていただけるよう配慮いたしております。		
(4)安心と安全を支える支援				
67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	運営本部は各施設の管理者による身体拘束廃止委員会を設置し、正しい理解、拘束しないケアについて、月一回程度の会議を行っております。又、事業所でも身体拘束廃止委員会を設置し、正しい理解に努めております。		
68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵をかけず、職員の見守りを徹底しながらも外部者の侵入の危険性もある為、センサー設置し、開閉時の対応を行っております。		
69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員同士が常に声かけ、申し送り等を行いながら入居者様の所在、安全確認を行っております。		
70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	薬や洗剤、包丁、はさみ等は、安全に管理できる場所にて保管し、必要時はその方の状態を十分に把握しながら提供を行っております。		
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	研修や勉強会により、知識の習得を図り、想定される事故等職員で検討しております。又、事故が発生した場合は、事故報告書を作成し、事故原因や今後の対策について検討しております。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	ミーティングや研修にて急変時や事故発生時の対応についてマニュアルを作成し、スタッフが慌てずに、確実かつ適切な対応が出来るようにしております。主治医との連絡も常時可能な体制となっております。		
73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人の協力を得られるよう働きかけている	運営推進会議を行ったり地域の防災訓練にも参加し、施設の理解を深めていただき、日ごろより地域の方々の協力を得られるように取り組んでおります。		
74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	面会時等、日頃よりご家族の方とのコミュニケーションを図り、入居者様一人ひとりに予測されるリスク等、管理者より説明をしたり、ふれあい通信の中で、現状報告をさせていただいています。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	一人ひとりの普段の状況の把握に努め、体調の変化に異常が現れる場合は、速やかに主治医、管理者に連絡し、各スタッフに口頭と書面で申し送り徹底しております。		
76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	研修会や居宅療養管理者指導を受ける事で各入居者様の薬の効能や副作用、服用方法等について理解しております。又、服用時においては、職員同士で確認し合い、誤薬に気を付けております。		
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	繊維質の多い食材や乳製品を取り入れ、便秘予防に努めております。又、自然排便が出来るよう散歩やレクリエーション等でなるべく身体を動かすよう参加の促しをしております。		
78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の口腔ケアを行っております。週に一回は歯科衛生士による口腔ケアを行い、口腔内の清潔保持に努めております。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通して確保できるよう一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者様の状態に応じて、食事量や水分摂取量をチェック表に記入し、職員全員が把握し、必要な食事や水分がとれるよう支援しております。		
80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	運営本部は感染症マニュアルを作成し、研修などによりその対応を職員全員が徹底できるよう予防や対策に努めております。		
81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板、布巾については、毎晩の夜勤者が毎日除菌を行っております。又、食材においては賞味期限内に使用し、長期保存は冷凍にて行っております。		
2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関脇の花壇に花を植えています。ラティスに鉢をかけたリベンチやプランターなどを置き、親しみやすい雰囲気を作っております。又、玄関から門へは手すりを設置し、安全に歩行できるよう工夫しております。		
83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないよう配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎日の掃除や換気を怠りなく、家具の配置等も時々変えたりしながら、気持ちよく過ごせるように気を配っております。リビングには日めくりカレンダーや季節の歌を張り、入居者様と一緒に楽しく歌っております。		
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングだけでなく、廊下にも椅子を設置し、入居者様同士が静かにゆっくりと話をされたり、過ごせるよう工夫しております。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は、使い慣れた馴染みの家具等を持ち込んで、安心して過ごせるよう配慮しております。又、入居者様一人ひとりの居室の戸にかわいいネームプレートで自分の居室である事の確認が出来るようにしております。		
86	換気 空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	各居室に、温度計、湿度計を置き、温度調節と湿度調節に努めております。又、朝の掃除時や入居者様一人ひとりの状態に応じて、窓を開け、換気を行っております。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	内部はすべてバリアフリーの作りであり、トイレや脱衣所に必要に応じて手すりを付けて対応しております。		
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	居室やトイレ浴室等、施設内で分かりやすい大きな字で日時や場所を示し、混乱がないよう工夫しております。		
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり活動できるように活かしている	庭に花壇を作って一緒に水遣りをしたり洗濯物干し場を設置し、日常的に楽しみながら活動出来るようにしております。庭にはベンチを置き、外でのおやつや、バーベキュー等を行っております。		

.サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の 2/3 くらいの	
		利用者の 1/3 くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の 2/3 くらいと	
		家族の 1/3 くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くない	
100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が	
		職員の 2/3 くらいが	
		職員の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の 2/3 くらいが	
		家族等の 1/3 くらいが	
		ほとんどできていない	

【時に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)